



いざというとき、あわてずに
—9月9日は「救急の日」—

平成五年中に、大館市内で救急車が
出動した回数は千六十二回。一日平均
にすると二・九回になります。私たち
の周りでは、いつ急病人や交通事故な
どによるけが人が出るかわかりませ
ん。日ごろから救急車の正しい利用方法や
適切な応急手当の方法を頭に入れてお
き、いざというときにもあわてずに行
動することが大切です。

「救急車を呼ぶときのポイント」

■ 119番を回して「救急車」と言い、
病人やけが人の数と現在の状態（意
識や呼吸の有無）を話してください。
■ 住所や事故の発生場所を教えてください。
■ 近くに目標となるものがあれ
ばその目標物をお知らせください。
※ 自宅の電話器のそばには、住所と目
標物を書いたメモを置いておくこと便
利です

■ 自分の名前と電話番号を言ってく
ださい。

■ 救急車のサイレンが聞こえてきたら、
応急手当をしている人以外で手のあ
いっている人が、外へ出て救急隊を案内
してください。

■ 救急車は、緊急に病院などへ搬送し
なければならぬ人たちのものです。
緊急性が無いのに救急車を呼ぶこと
は、一刻を争うような場合の妨げに
なることを忘れないでください。

■ 大館周辺広域消防署 ☎ 43-4151

● 広報おおだて 平成6年9月1日号(No.612)
発行/大館市 〒017 秋田県大館市字中城20番地
☎ 0186-49-3111
編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)



● 広報おおだては再生紙を使用しています。
(表紙：全日本サマースキー・ローラースキー大会)